

原著

リポソーム化アミカシン吸入療法を行った難治性肺 MAC 症 11 例の後方
視的検討

尾下 豪人^a, 池上 靖彦^a, 緒方 美里^a, 井上 亜沙美^a, 佐野 由
佳^a, 吉岡 宏治^a, 宮原 栄治^b, 山岡 直樹^a

所属機関：国家公務員共済組合連合会吉島病院

^a呼吸器内科, ^b呼吸器外科

要旨

当院でアミカシン硫酸塩吸入用製剤（ALIS）を投与した肺 MAC 症患者 11 例を対象として、ALIS の細菌学的効果と関連する臨床的特徴を、排菌量および画像所見を含めて検討した。6 ヶ月以内に排菌陰性化が確認できたのは 11 例中 4 例で、うち 2 例はマクロライド耐性例だった。排菌陰性化例は NICE スコアの合計値、空洞および上肺野の値が有意に低値だったほか、排菌量が少なく、CRP と血沈が低値だった。ALIS 開始前の排菌量、炎症、病変の分布や形態が ALIS の効果に影響する可能性がある。

キーワード:

アミカシン硫酸塩吸入用製剤 (amikacin liposome inhalation suspension: ALIS)

肺非結核性抗酸菌症 (non-tuberculous mycobacterial pulmonary disease : NTM-PD)

Mycobacterium avium complex (MAC)

排菌陰性化 (culture conversion)

NICE スコア (NICE score)

短縮タイトル : リポソーム化アミカシン吸入の効果と臨床的特徴